

渋川総合病院再編統合問題 特別委員会のあらまし

渋川総合病院再編統合問題特別委員会が、6月19日、7月24日、9月24日と3回にわたって開催され、新病院建設に係る内容を調査しました。

第5回の特別委員会（7月24日）では、西群馬病院の斎藤龍生院長及び渋川総合病院の横江隆夫院長に、統合にあたっての所感を聞きました。

斎藤院長からは、「新病院では診療科を含めたさまざまな要望があり、医師確保や設備投資が必要と予想されます。渋川市や地元医師会からの支援に基づいて、北毛の拠点病院としての役割を果たして行きたい」と説明がありました。

また、横江院長からは、「統合に向け、技術の向上を目指し、高度な医療が提供できるように引き続き頑張っていく」と説明がありました。

特別委員会では、両院長

の話を受け、これまで調査した基本計画（案）、基本的な考え方（案）について了承しました。

第6回の特別委員会（9月24日）では、新病院の建物配置図（案）や新病院の名称（仮称）などについての説明を受けました。

建物配置図（案）では、680台収容の駐車場やヘリポート、地下1階、地上7階とする配置図（案）が示されました。

新病院の名称（仮称）では、西群馬病院・渋川病院・渋川医療センター・北毛医療センターなどの案が示され、検討委員会の中では、渋川医療センターとする案が支持されたとの報告を受けました。

教育福祉常任委員会 視察報告

8月21日～22日、広島県三原市へ小中学校の再編とスクールバス運行について行政視察を行いました。

学級規模・形態は、①1学級の児童生徒数は20人以上40人以下。②学級数は各学年2学級以上。③小学校の適正な通学時間は30分以内、通学手段は徒歩またはスクールバスを基本。④中学校の適正な通学時間は45

分以内、通学手段は徒歩、自転車、スクールバス、公共交通を基本。

配置のモデルは①同一中学校区内の小中学校の統合②中学校と中学校の統合③小学校と中学校の統合です。

実施計画については、保護者や地域住民、学校関係者など幅広く意見を聞き取り、策定・実施する。5年間複式学級の常態化が予測される学校を3年以内を目途に適正規模に近づける取り組みがされていました。

く輝き、「天空の湖」と呼ばれます。

議員視察報告

7月1日から運転を開始した八州高原・ソフトバンク榛東ソーラーパークを23日に視察しました。

敷地面積3万6000平方メートルの自然豊かな周囲を説明を受けながら調査。最大出力規模は約2・4メガワット。年間発電量は一般家庭740世帯分相当の約268キロワット。晴天時には1万枚超のソーラーパネルが青



榛東ソーラーパーク

議会往来

8月

▽9日 愛媛県新居浜市議会が視察来庁

▽21日 大阪府茨木市議会が視察来庁

▽21日～22日 教育福祉常任委員会が広島県三原市に行政視察

10月

▽9日～11日 建設水道

常任委員会が広島県廿日市市と岡山県玉野市に行行政視察

▽15日～17日 市民経済

常任委員会が北海道網走市と釧路市に行政視察

▽16日 栃木県那須塩原市議会が視察来庁

▽24日 兵庫県相生市議会が視察来庁

議会を傍聴してみませんか

議会の傍聴は、市民の皆様が議会活動に触れることができる最も身近な方法の一つです。ぜひ、議会を傍聴し、議員の発言や活動を、直接ご覧ください。